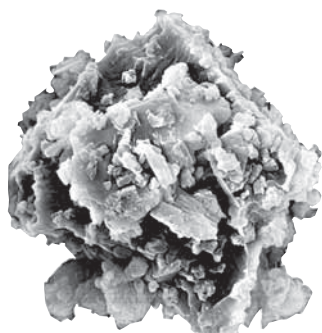




お施主様へ

「自然素材100%」 という品質

「シラス壁」をご採用いただくにあたり



シラス粒子

この度は当社のシラス関連製品にご関心を賜り、厚く御礼申し上げます。

自然素材100%の左官壁材は、

現状の化学物質を用いて工業製品化している左官壁材とは

物性も施工方法も、素材としての考え方までもが根本的に異なります。

お陰様でシラス製品は大変好評をいただいておりますが、

それら自然素材のもつ可能性、そして限界をご理解いただくことが

ご採用に際し大切かと、本資料を送付させていただく次第です。

「自然素材100%」 という品質

今、なぜ 自然素材志向なのか？

工業化社会は、大量消費を支えるうえで安定供給や生産性のために多くの化学物質を利用し、自然生態系にも大きな影響を及ぼしてきたことは皆様もご承知の通りです。しかし昨今、シックハウス症候群やアトピー性皮膚炎、小児喘息や花粉症など、わたしたちの生活において様々な障害が発生するという状況が生まれたことで、皆がもう一度、真剣に生活環境を考え直すようになってまいりました。

われわれ人間が生きていくうえで何よりも大切なのは、言うまでもなく「健康」にあります。このような状況下、日々の生活の場である「住まい」こそまさに身体に害を及ぼすことのない、できうれば積極的に「健康」を育む器であってほしいとの願望が高まってきたのは当然のことなのです。

建材は、食物と同様に身体に大きな影響を及ぼしているからこそ、食物と同じく、その安全性には特に気を配る必要があるのです。

自然素材へのニーズの高まりは、そのような皆さんの願い、要望の現れと考えられます。

自然素材が、これだけ脚光を浴びてきているということは、それだけ消費者が化学物質への不信や不安感をもっていることに他なりません。

「健康」を犠牲に得るものは何もないのです。

自然素材型と 化学物質型製品の相違点

しかし自然素材は、理想的で完全な素材かという
と、そうとも言いきれません。

1.コストについて

大量生産と安定供給を追求し、安くて安定した品質の製品を生産するには、自然素材型よりも化学物質を活用した方が確かに勝っています。しかし、それは、そもそも供給する側の都合やメーカー同士の競争原理から派生してきたもので、本来消費者が望んでつくられたものではなかったはずで

もちろん消費者にも「安さ」を求める志向、価値観はあります。しかし「安さ」は、健康を損ねてまで求めていくものではありません。特に、最近の消費者の皆さんは、そのあたりをしっかりと見極めて判断するようになってきています。

一方、化学製品と異なり自然素材においては、素材の工業的な規格、均質性は得られません。原材料の供給にも限度があり、効率性や生産性の面からも大量生産、安定供給に難があります。こういったことから、自然素材型の場合、化学建材や工業製品に比べて多少のコストアップは否めない状況にあります。

2.施工性について

自然素材は、取り扱う上で仕事がやりにくく、面倒

だとか、能率が上がらないといった声がよく聞かれ、職人さんから敬遠されがちです。

元来、漆喰にしるジュラク壁にしる、左官仕上材は100%自然素材であり、化学物質などに頼ってはいなかったはずです。ところが、いつの間にか、大量生産、安定供給、高効率の名のもとに化学物質を活用した商品へと移行してきた結果、技能力をあまり必要としないほど施工が容易となり、昔に比べると職人さんの腕も落ちてきてしまいました。

もちろん、技術革新により施工を簡易化すること自体は、決して悪いことではありません。しかし現行の施工性の改善は、化学物質の力を借りた技術革新だったという限界があります。今、市場ニーズが大きく自然素材へとシフトし始め、自然素材にも、より時代に即した新しいあり方が模索されています。と同時に施工に当る現場においても、従来とは違う、自然素材に合わせた施工技術が求められているのです。

自然素材100%、火山噴出物シラスを用いた高千穂シラス壁が実現した施工面での改善は、そういった意味からも高い評価をいただきました。施工を助ける化学物質をあえて排除し、自然素材100%でつくられているにもかかわらず、伸びと付着性の良さ、画期的な工期短縮など、施工性に優れた製品として大変ご好評をいただいております。

3.仕上がりについて

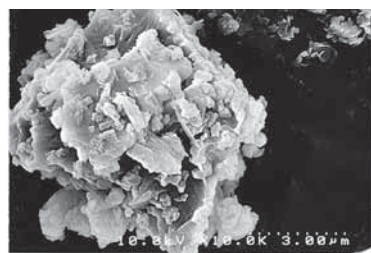
自然素材には、工業製品のような均一性は存在しません。同じ種類の木であっても、材木は、土地や生育条件などで一本一本異なり、同じものはありません。自然のままのシラスも、採取する地層により、わずかながら色調も異なっています。しかし、自然素材のもたらす視覚的優しさや安らぎ感といったものは、工業的な規格からはずれた品質によるものです。自然素材を用いた新しい左官壁には、化学物質型材料とは違った品質と仕上がり方があることを、よろしくご理解ください。

施工性に大きな改善を実現した製品とは言え、完全な均一性をもった工業製品と異なり、自然素材には自然素材としての特殊性ともち味、それに対応した施工法や取り扱い方があります。何分にも、近年は化学物質型左官材が市場の大半を占めており、そのような材料にしか施工経験のない職人さんも多いため、開発に当っては多くの左官職人さんのご協力をいただき、施工上のノウハウを「施工要領書」としてまとめました。自然素材にまつわる仕上がりの不備を限りなくゼロに近づけるための一冊です。

シラス壁は粒子が極めて細かく、滑らかに伸びて、クラック（ひび割れ）が出にくい特長があります。ソフトでナチュラルな色調、不思議な温かみを感じさせるテクスチャ。工業製品とはひと味違う「安らぎ感」こそ、自然素材のもち味なのです。

自然素材100% という考え方

当社がシラス壁材を開発する以前にも、シラスは高温で再焼成してシラスバルーン、ガラスバルーン等の工業製品として利用されてきました。



シラス粒子の顕微鏡写真

当社は、高温処理によって失われてしまうシラス微粒子の多孔質構造に着目し、あえて原形での活用を考え、左官壁として開発いたしました。この壁のもつ消臭／空気清浄化機能や調湿機能、マイナスイオン発生効果、高耐久性といった複雑な機能は、自然のままのシラスが有する、人工的には作ることのできない複雑な多孔質構造が実現したもののなのです。

一方で、化学物質型製品が実現した均一性は、完

全には保つことができません。施工上の注意点もあり、施工業者さんや職人さんの一部から敬遠されたり、仕上がり具合に悩むといったケースは、このことに過敏になられてのことが多いようです。

自然素材は何よりもまず、その風合いを楽しみたいものです。人の手によって形を吹き込まれる自然素材の壁は、とても表情に満ちています。一つひとつ、ろくろを回して作る器と、工場で型抜きして大量生産される器と、あなたはどちらに深く愛着を感じられるでしょうか？

例えば、無農薬による有機栽培の野菜の場合、均一な品質の野菜は生まれません。しかし、人々は、有機野菜の場合、多少の虫食いやひび割れ、粒の不揃いは許容します。それは、何よりもこれらの野菜が健康に貢献し、風味豊かでおいしいからです。

100%自然素材の左官仕上材にも、まったく同じことが言えると思います。あなたは、まず第一に、ご家族の健康に確実に寄与することを求めて、自然素材の壁を選ばれたはずです。ご家族のために有機野菜を選ぶことと、根は同じなのです。

工業的規格品のような、より均一な仕上げのためには、時代の背景から考えて施工の簡易な化学物質型材料しかないと言えます。自然素材は経年変化をも「美」としてしまいます。竣工時が一番美しい工業製品とは、根本から異なる性質と価値観に立脚しているのです。

耐久性に富む強い壁です。じっくりと、永い目でつき合ってみてください。この自然素材の壁がもたらす

快適さは、あなたの予想をはるかに越えているであろうことを、メーカーとしてお約束いたします。

自然素材にとことんこだわる 材料メーカーとして

多くの長所と複雑な機能を秘めた自然素材は、素材そのものに起因する独特の施工方法や注意点に不馴れな職人さんも多く、大きな流れを形成するまでには、まだ少し時間がかかりそうです。

当社は、「自然素材100%」を製品の大切な品質の一つであると考えています。高千穂シラス壁は、廃棄した時にも環境を汚染せず土に戻せる、まったく安全な壁材であり、床下の湿度調整剤や土壌改良剤として再利用も可能です。

お客様にお届けする確かな品質として、高千穂シラスは、これからも「自然素材100%」にこだわり続けます。

それにつけても、お施主様や建築会社の皆様から大きな評価をいただいている現実はとてもありがたく、開発者として、ますます意を強くする次第です。

これからも、環境資本主義を標榜するメーカーとして商品の品質向上のための研究を怠らず、皆様によりよい商品をご提供できますよう、さらに努力を重ねることをお誓い申し上げます。

当社のシラス関連製品が、ご家族皆様の快適な暮らしと健康に貢献することができれば、これに勝る喜びはありません。

よろしくご検討のほど、お願い申し上げます。

シラス製品ラインナップ

「薩摩中霧島壁」「ピオセラ」「中霧島壁ライト」「中霧島壁ライトピオセラカラー」「白洲漆喰(内装用左官材)」「白洲リフォーム(リフォーム専用内装材)」「スーパー白洲そとん壁W(外装用左官材)」「シラストントン」「白洲土タタキ(舗装材)」

マグマが生んだシラス◇地球上の生命を育んだ海＝マグマスープ◇だから人とシラスは相性がいいんです!!

高千穂シラス株式会社 ライフニクス事業部/〒220-8109 横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー9F
<http://www.takachiho-shirasu.co.jp>

■製品についてのご質問、お問い合わせは **お電話 0120-0111-535** **FAX. 0120-998-084**